

薬事委員会記録

日 時：平成 27 年 9 月 3 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：伊藤、鶴見、諏訪、西垣(和)、諏訪、山内、早崎、瀧上、川瀬、棚橋、安田(満)、
田中、田辺、畠山、加藤、長瀬、吉田、玉井、安田(浩)、小森、鈴木、西垣(美)

代理出席者：奥村〔2 外〕、神田〔小児〕、高田〔光学医療〕、牧野〔事務〕

委任状提出：加納、久保田、南谷

欠席者：木村(暁)、村瀬、江頭、市川、白上、紀ノ定、堀川、村上、折居、酒々井

記録の承認

平成 27 年 6 月 4 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

5 品目（パージェタ点滴静注 420mg/14mL、オイパロミン 300 注 50mL・同 100mL、クレナフィン爪外用液 10%、グタケキャブ錠 20mg）の採用を承認した。

2. 後発品採用促進に伴う医薬品の追加採用について

2 品目（イオプロミド 370 注シリンジ 80mL「FRI」・同 100mL「FRI」）の採用を承認した。

3. 医薬品の継続試用について

9 品目（ミルセラ注シリンジ 150μg、ザファテック錠 100mg、スプレキュア MP 皮下注用 1.8、ドキシル注 20mg、ミレーナ 52mg、ミダフレッサ静注 0.1%、大塚生食注 2 ポート 100mL、メチレンブルー静注 50mg「第一三共」、レスピア静注・経口液 60mg）の継続試用を承認した。

4. 医薬品の新規試用について

13 品目（ジースタ皮下注 3.6mg、インスリングラルギン BS 注ミリオペン「リリー」、サイラムザ点滴静注液 100mg・同 500mg、ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%バッグ、ベリプラスト P コンビセット組織接着用 1mL、ブイフェンドドライシロップ 2800mg、ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 5mL・同 7.5mL・同 10mL、マグネスコープ静注 38%シリンジ 15mL、ベリプラスト P コンビセット 組織接着用 3mL、ツムラ治打撲一方エキス顆粒）について、申請診療科および薬剤部より説明された後、新規試用の承認可否について投票を実施した。その結果、原案通り全て承認された。

5. 医薬品の採用中止について

13 品目（エストラサイトカプセル 156.7mg、エンテノロン-R 散、ポンタールシロップ 3.25%、ソフラチュール貼付剤 30cm、ボルヒール組織接着用 1mL、オムニスキャン静注 32%シリンジ 15mL、スパニジン点滴静注用 100mg、フェノバル注射液 100mg、プロジフ静注液 100mg、プロスコープ 300 注シリンジ 100mL、マグネビスト静注シリンジ 10mL・同 15mL・同 20mL）の採用中止を承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

7 品目（ベネシッド錠 250mg、ランタス XR 注ソロスター、ロゼックスゲル 0.75%、コソプトミニ配合点眼液、タプロスミニ点眼液 0.0015%、デュアック配合ゲル、ワントラム錠 100mg）の院外採用が報告された。

②医薬品の院外採用中止について

14 品目（エボザックカプセル 30mg、エンテノロン-R 散、クラリス錠 200mg、グルコバイ錠 50mg、バラシクロビル粒状錠 500mg「モチダ」、ビオフェルミン R 散、ペンタジン錠 25mg、メトレート錠 2mg、イドメシニコークリーム 1%、ソフラチュール貼付剤 30cm、ノボラピッド注ペンフィル、ヒューマリン R 注 100 単位/mL・同 N 注カート・同 3/7 注カート）の院外採用中止が報告された。

2. 院内採用変更医薬品について

1 品目（サリグレンカプセル 30mg）の製剤変更が報告された。

3. 販売中止医薬品について

3 品目（ラクツロース末・P、リドーラ錠 3mg、アイビナール点眼液 0.01%）の販売中止が報告された。

4. 緊急購入医薬品の登録について

15 品目（トリーメク配合錠、アドセトリス点滴静注用 50mg、オールドレブ点滴静注用 150mg、サイラムザ点滴静注液 100mg・同 500mg、ザノサー点滴静注用 1g、ロゼックスゲル 0.75%、ルティナス腔錠 100mg、アザルフィジン EN 錠 250mg、ステリクロン W 液 0.02%、レンビマカプセル 4mg・同 10mg、ゼルボラフ錠 240mg、コセンティクス皮下注 150mg シリンジ、イロクテイト静注用 1500 国際単位）の緊急購入の登録が報告された。

その他

1. 後発医薬品への切替について

医薬品費適正化 WG にて、1 回目の調査で切替除外要望のあった中で切替検討が必要な 52 品目を対象として検討が行われ、2 回目の調査で切替が決定された 28 品目の後発品の選定品目が報告された。

2. 臨床研究実施のための先発医薬品使用申請書の使用開始および緊急購入薬品申請書記載様式の一部変更について

新たに臨床研究実施のための先発医薬品使用申請書を作成し、後発品へ切替えた先発品を臨床研究に使用する場合には本書式をもって申請することとした。それに伴い、緊急購入薬品申請書記載様式の一部変更について報告された。

3. 医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況について

調査は平成 27 年 6 月に行われ、医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいて業務実施状況を評価したところ、東 8 階で C 評価の項目があったとの報告がされた。対応を進めているとの説明がされた。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 27 年 12 月 3 日(木)とした。